

## 請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	令和2年11月5日 第22号
件 名	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める 要望書提出の請願
請 願 者	文京区大塚三丁目 36 番 7 号 健商ビル 5 階 文京区社会保障推進協議会 会長 武 市 和 彦
紹 介 議 員	小 林 れい子
請願の要旨	次 頁 の と お り
付託委員会	厚 生 委 員 会

## 請願理由

今年6月25日、政府の「全世代型社会保障検討会議」が、「第二次中間報告」をまとめました。その中で、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担については、直接の言及を避け、対象となる一定所得以上の範囲については、「中間報告で示された方向性や進め方に沿って検討を進め、本年末の最終報告において取りまとめる」と結論を先送りしていますが負担増を進める姿勢は変えていません。

先の通常国会に「75歳以上の医療費窓口負担2割化」反対の国会請願署名を全国から165,694筆提出しました。その後の取り組みで6月末現在445,767筆が集約されています。また、政府の社会保障審議会でも老人クラブや医療関係団体から負担増について慎重な検討を求める意見が相次いで出されています。この制度が実施されれば、高齢者の生活はますます苦しくなってしまいます。2019年国民生活基礎調査では、高齢者世帯の平均所得は前年より22万3千円減っています。この調査は昨年10月の消費税増税前に実施されたものです。その後のコロナ危機の影響もあり、高齢者世帯の暮らしはさらに悪化している恐れがあります。

これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることとなります。

文京区議会として、高齢者の暮らしと健康、命を守るために、国に対し、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担の現状を維持するよう要望書を提出していただきたく、請願するものです。

## 請願事項

国に対し、「75歳以上の高齢者の医療費窓口負担については現状維持に努めること」と要望すること。